

平成25年度 舞鶴市議会意見交換会報告書

総務文教班

開催日時	平成25年10月16日（水）		
開催場所	舞鶴市役所 本館4階 議員協議会室		
テーマ	中学生の学力向上について		
対象団体	舞鶴市PTA連絡協議会		
参加人数	10名	傍聴者数	11名
出席議員 (役割分担)	西村正之 (座長・議会報告)	高橋秀策 (司会)	後野和史 (まとめ・開会挨拶)
	田村優樹 (資料等準備)	福村暉史 (記録)	水嶋一明 (記録)
内 容	西川誠人 (報告)		
<p>【概要】</p> <p>議長とPTA連絡協議会会長のあいさつの後、座長から9月定例会等の報告を行った。参加者から自己紹介及び学力向上にかかることについて一言ずつ発言を願い、その後、順不同のかたちで、テーマに沿って、保護者として、またPTA活動の中で日頃感じていることを伺いながら、意見を交換した。</p>			
<p>【意見・要望等】</p> <p>参加された方それぞれに、テーマにかかわる課題をもって臨まれ、その意見や要望・思いなどを捉える視点から次の4点に大別し、主な内容を報告する。</p> <p>≪1. 授業についていけない子どもの課題≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの子にもわかる、楽しい授業をしてほしい。 ・授業についていけない子どもの勉強をフォローしていく体制を整え、やればできるという励みを与えることが必要である。 ・中学生の学力向上には、小学生の基礎をしっかりと身に付けることが不可欠である。 ・振り返り学習をし、小学校の基礎学力をしっかりと定着させた上で、中学校へ進めるようそのより良い方策を願いたい。 ・落ち着いた環境を整えていくなかで、学力は向上していく。 ・舞鶴市統一学力診断テスト（＝以下、夢チャレンジテスト）は、順位を知ることで学力向上に対する意欲をなくす子どもがいる。 <p>≪2. より高い学力向上を目指す子どもの課題≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴の学力が低いと聞き、子どもを都会に残し赴任している人もいる。 ・上位の成績の子どもも伸ばしていくことも必要である。 ・夢チャレンジテストでの順位の開示は、子どもの頑張りを刺激し、切磋琢磨していく良い取り組みであり、保護者が子どもと向き合う機会となる。 			

《 3. クラスや学校集団として捉えたときの課題 》

- ・学力の差が個々で違いすぎる。
- ・子ども同士が教え合うことで、お互いの学力向上になれば良い。
- ・先生を増やすなど、先生の負担を軽減、先生をバックアップする体制を整えてほしい。
- ・夢チャレンジテストの学校やクラスの平均点などの開示は、先生や保護者に過度な圧力がかかってくるので、すべきでないと思う。

《 4. その他の課題 》

- ・子どものやる気を家庭でどう結びつけていくのかが課題である。
- ・学校は、家庭での学習課題を出してほしい。
- ・携帯電話（ラインなど）でのやりとりで、心が安まらないという子どもがいる。
- ・各界で活躍されている方の話を聞くのは大切で、機会が増えればよい。
- ・ゆとり教育をなくそういうかたちの中で、土曜授業は、学期で1回の状況。もっとするべきことがあるのではないかと思う。
- ・学力を向上させるなら、文武両道で、スポーツにも力を入れるべきと思う。
- ・子どもたちの学力向上や進路についてなど、いろんな情報を子どもたちに与える環境をつくってほしい。

舞鶴市議会議長 尾関善之 様

平成25年 11月15日

舞鶴市議会意見交換会実施要領第9項（1）により、報告書を提出します。

総務文教班座長 西村正之